

②スギ

分布と履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・スギは、吉城川上流部から春日大社に近いところに分布し、大径木が多く見られる。 ・大径木は明治・大正期、その他成木は「葦」整備時（1988）に植栽されたと考えられる。一部に若木が見られるが、実生であると考えられる。
生育・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・スギは全体に生育は良好で、大径木も多い。 ・スギは、定期的な管理作業は実施していない。
周辺部のスギ	<ul style="list-style-type: none"> ・春日大社境内地には、スギの大径木が多く見られる。 ・若草山山麓部の芝地や樹林地は、スギはほとんど見られず、モミが多く見られる。
「公園全体の植栽方針」との整合	<ul style="list-style-type: none"> ・スギは、「スギを基調とするエリア」に分布しており整合している。 <p style="text-align: right;">※配植図は①マツ類の図を参照</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スギは概ね大きな問題はないが、樹木規格が相当に大きくなっているため、一部過密や他の樹木とバッティングが生じている。また、庭園景観がアンバランスとなっている所も見られることから、選択的に伐採することを検討する必要がある。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>生長が進み突出したスギ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ヒガンザクラを被圧するスギ 花を見せるため枝打ちされている</p> </div> </div>	

○その他の針葉樹

・計画地内のマツ類とスギ以外の針葉樹としては、以下のものがみられる。

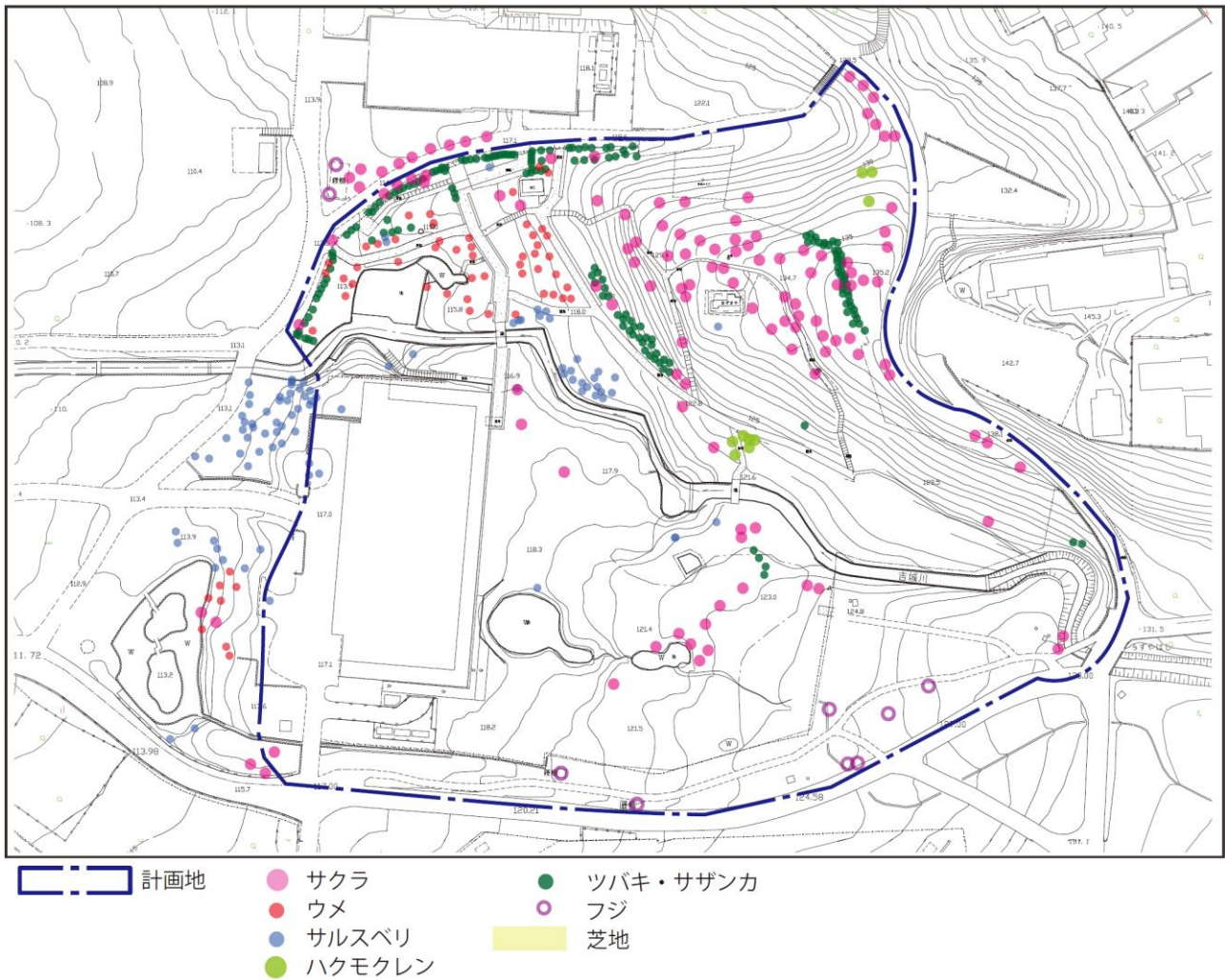
イヌマキ：計画地南側の生垣に使用されているほか、尾根の北東端の斜面地に数本見られる。

ナギ：計画地南側の外周に数本見られる。

メタセコイア：計画地北寄りに大木が1本見られる。

●花木類の分布（サクラ類、ウメ、サルスベリ、ハクモクレン、ツバキ・サザンカ、カエデ類）

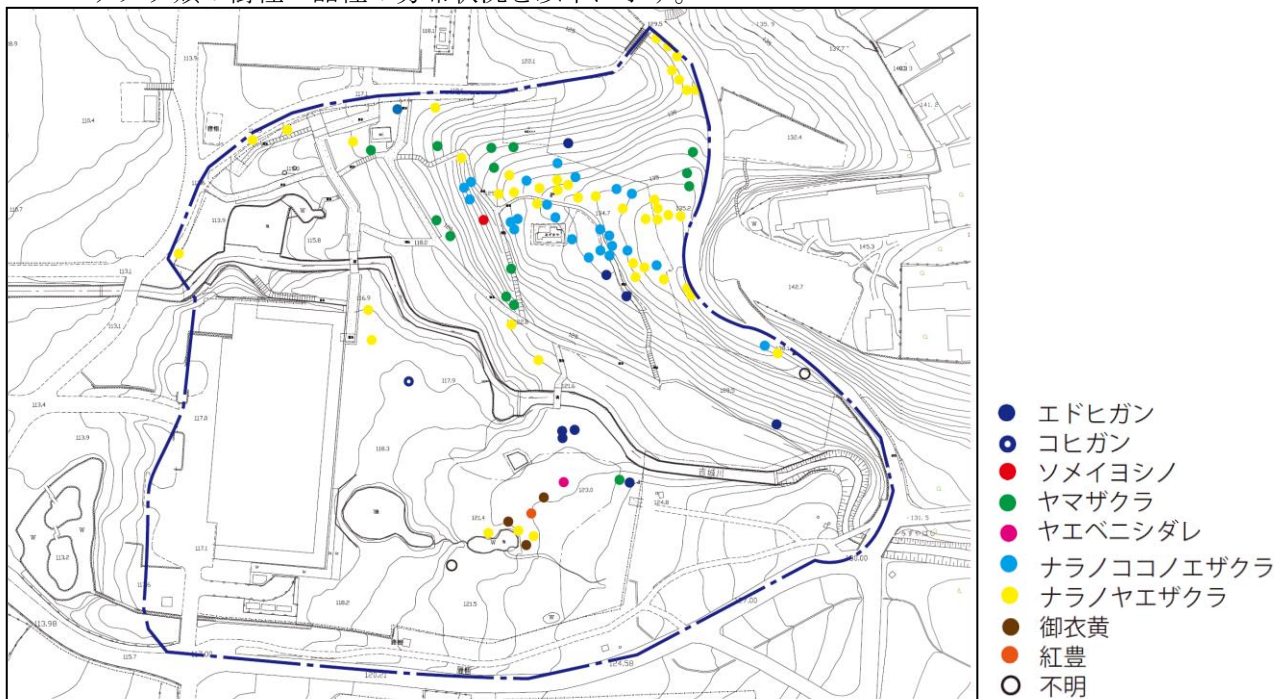
花木類の分布状況を以下に示す。



図：花木類の分布

樹木調査（H27年度）

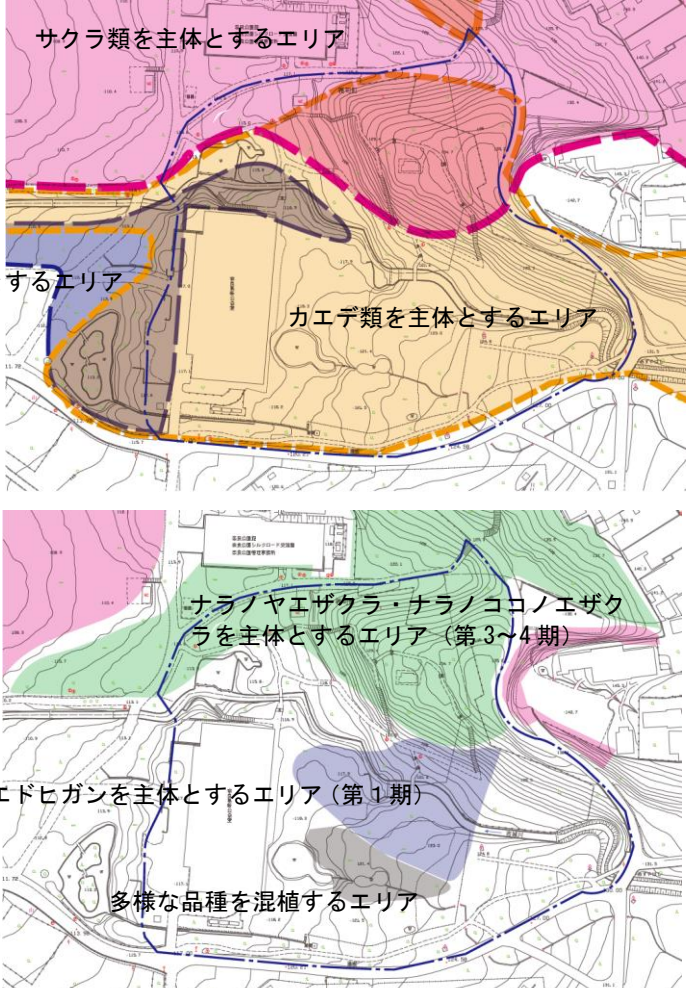
サクラ類の樹種・品種の分布状況を以下に示す。



図：サクラ類の樹種・品種の分布

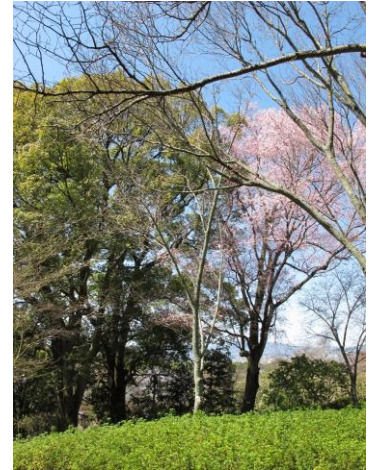
樹木調査（H27年度）

③サクラ類

<p>分布と履歴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サクラ類は 尾根部と山麓樹林の林縁付近に分布しており、いずれの場所にも大径木が見られる。 ・大径木は「葦」整備以前に植栽されたもので、エドヒガン、ヤマザクラ、ソメイヨシノで構成されている。特にエドヒガンは、樹高も高く樹勢が良いものが多い。 ・大径木以外のサクラは「葦」整備時（1988）に植栽されたもので、尾根部はナラノココノエザクラとナラノヤエザクラが植栽され、芝地の南側にはシダレザクラや御衣黄などの園芸品種を展示的に植栽している。
<p>生育・管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ソメイヨシノやヤマザクラの大径木の一部は、樹勢が衰え樹形が乱れている。 ・エドヒガンは、いずれも樹高も高く樹勢の良いものが多いが、クスノキやスギなどの大木に被圧されているものがある。 ・ナラノココノエザクラとナラノヤエザクラの生育は全体に良好であるが、常緑樹林内にあるものは樹勢が衰えているものが多い。ナラノココノエザクラやナラノヤエザクラの一部は、樹木生長が進んでいるため過密化しているところがある。 ・芝地の南側の園芸品種は芝地に点在しており、生育は良好である。 ・サクラ類は、定期的な管理作業は実施していない。
<p>周辺部のサクラ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・浮雲園地や春日野園地から若草山山麓に向かう動線付近は、ナラノココノエザクラとナラノヤエザクラが多く植栽されている。 ・春日大社境内地付近は、サクラは殆ど見られない。
<p>「公園全体の植栽方針」との整合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サクラ類は、主に「サクラ類を主体とするエリア」に分布しており整合している。  <p>図：花木の配植（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹種・品種は下図「サクラ類の配植（案）」に示された配植と概ね整合している。 <p>図：サクラ類の配植（案）</p>

課題

- ・常緑樹林内などに植栽不適箇所に配植されているサクラは、伐採を検討する必要がある。
- ・常緑樹木の大木に被圧されているサクラの大径木は、サクラの保全のため常緑樹木の剪定や伐採などを検討する必要がある。
- ・エドヒガンやヤマザクラなどは、後継樹木の植栽を検討する必要がある。
- ・ナラノココノエザクラやナラノヤエザクラの一部で過密化しているものは、隣接樹木もあわせて、択伐や移植等を検討する必要がある。



早春のサクラ等の景観

クスに被圧されるエドヒガン

(左からコヒガン、ハクモクレン、エドヒガン。左上クスノキの背面からエドヒガン大木が覗く)



エドヒガン (太鼓橋南)



シダレザクラ (太鼓橋南)



ナラノココノエザクラ (尾根部)



ナラノヤエザクラ (尾根部)



ヤマザクラ (尾根部)



ソメイヨシノ (尾根部)

④ウメ

分布と履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ウメは、庭園北よりの芝地付近に梅林として分布している。 ・ウメは、全て「葦」整備時（1988）に植栽されたものと考えられる。
生育・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ウメは、定期的な剪定をうけており樹木の大きさは大きくない。 ・幹に傷みがあるものがあり、樹勢はやや衰えているものが多い。
周辺部のウメ	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺にウメは植栽されていない。
「公園全体の植栽方針」との整合	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地内にウメの配植に関わる記載はない。 <p style="text-align: right;">※配植図は③サクラ類の図を参照</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・管理の工夫により樹勢を高め、花付きをよくする必要がある。



ウメ（連絡通路西側）



ウメ（連絡通路東側）

⑤サルスベリ

分布と履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・サルスベリは、芝地を流れる吉城川の北側に分布している。 ・サルスベリは、全て「葦」整備時（1988）に植栽されたものと考えられる。
生育・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・サルスベリは、定期的な剪定をうけており樹木の大きさは大きくない。 ・サルスベリの生育に特に問題はない。
周辺部のサルスベリ	<ul style="list-style-type: none"> ・サルスベリは、浮雲園地から「葦」に向かう動線に沿って多数植栽されている。
「公園全体の植栽方針」との整合	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地内にサルスベリの配植に関わる記載はない。 <p style="text-align: right;">※配植図は③サクラ類の図を参照</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な樹形や大きさを検討し、状況に応じて剪定方法や植栽密度を改善する必要がある。



サルスベリ（後方はウメ）



サルスベリ

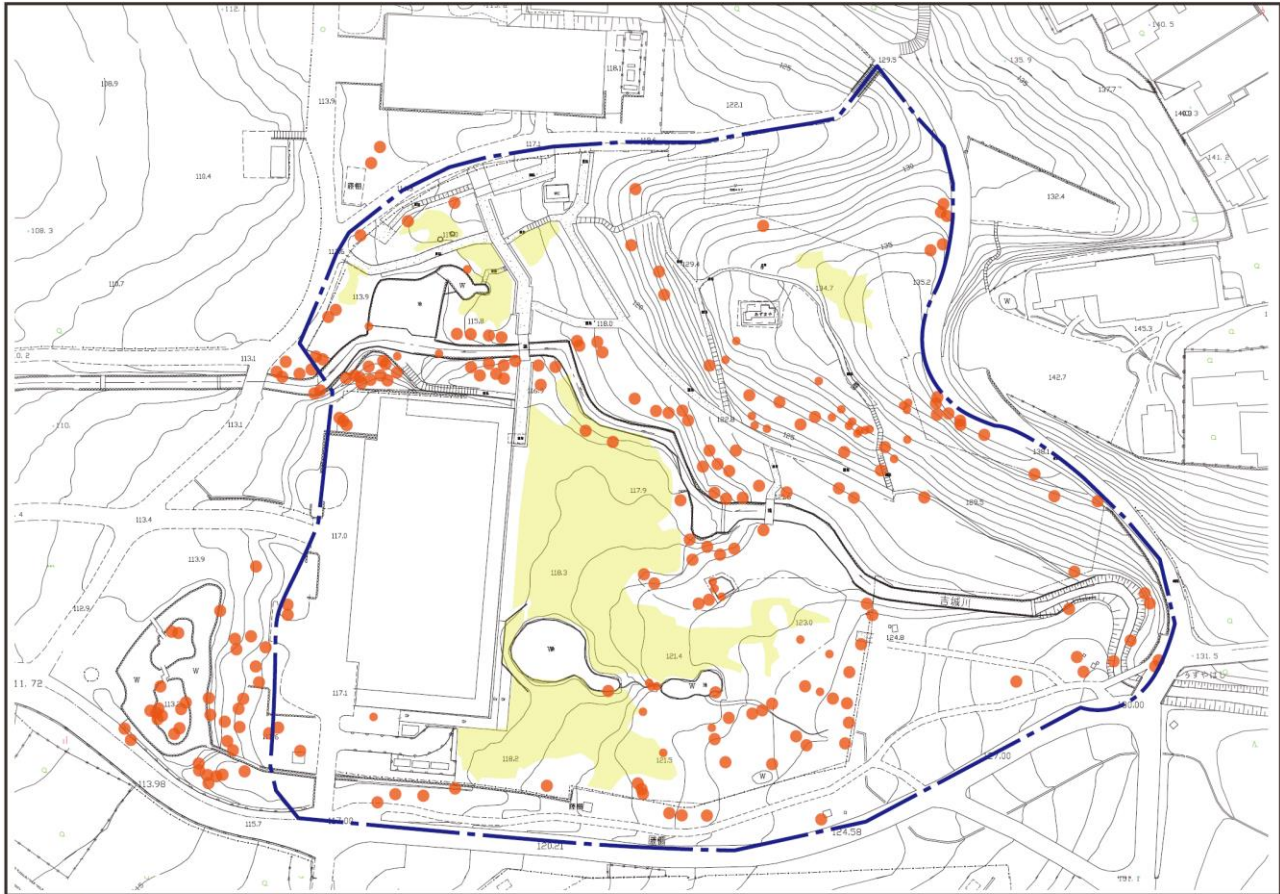
⑥ハクモクレン

分布と履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ハクモクレンは、太鼓橋北側に5本、庭園外周部の北東角部に5本植栽されている。 ・ハクモクレンは、全て「葦」整備時（1988）に植栽されたものと考えられる。
生育・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・一部隣接樹木の被圧があるものや、今後被圧の恐れがあるものがある。 ・ハクモクレンは、定期的な管理作業は実施していない。
周辺部の分布	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺部にハクモクレンやコブシは植栽されていない。
「公園全体の植栽方針」との整合	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地内にハクモクレンの配植に関わる記載はない。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ハクモクレン及び隣接樹木について、今後の樹木生長を踏まえた植栽管理を検討する必要がある。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ハクモクレン（太鼓橋北側）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ハクモクレン（庭園外周部）</p> </div> </div>	

⑦ツバキ・サザンカ

分布と履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ツバキとサザンカは、庭園の外周柵付近や園路沿い等に列植されているものが多い。 ・ツバキとサザンカは、「葦」整備時（1988）に植栽されたものと考えられる。 ・吉城川最上流部付近に自然植生のヤブツバキが点在している。
生育・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ツバキとサザンカ共に生育良好であるが、一部のツバキで生長が進み過密になっているものがある。 ・ツバキとサザンカは、定期的な管理作業は実施していない。
周辺部のツバキ・サザンカ	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤブツバキは、春日大社境内地など自然植生に混じる。 ・サザンカはほとんど見られない。
「公園全体の植栽方針」との整合	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地内にツバキ・サザンカの配植に関わる記載はない。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・過密なものや景観上支障のあるものは、適宜択抜や剪定（樹高調整）する必要がある。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>サザンカ（庭園外周柵付近）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ヤブツバキ（尾根山裾）</p> </div> </div>	

⑧カエデ類



計画地

イロハモミジ・ヤマモミジ

芝地

図：カエデ類の分布

樹木調査（H27年度）

分布と履歴	<ul style="list-style-type: none"> カエデ類は、吉城川沿いに次いで計画地南東の常緑広葉樹林の林縁部分に多く見られる。ほとんどはイロハモミジであるが、一部ヤマモミジが混じる。 カエデ類は大径木が多い。一部に若木が見られるが実生である。 吉城川沿いのカエデ類は、「葦」整備時（1988）に園内移植されたものである。
生育・管理	<ul style="list-style-type: none"> カエデ類の生育は良好で、樹形、樹勢共に良好なものが多い。 剪定など定期的な管理作業はされていない。
周辺のカエデ類	<ul style="list-style-type: none"> 吉城川沿いの上下流は、共にカエデ類が連続している。
「公園全体の植栽方針」との整合	<ul style="list-style-type: none"> 計画地内ほぼ全域が「カエデ類を主体とするエリア」になっており、整合している。 <p style="text-align: right;">※配植図は③サクラ類の図を参照</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> カエデ類は庭園の主要構成樹種として重要であるため、適宜択伐する必要がある。



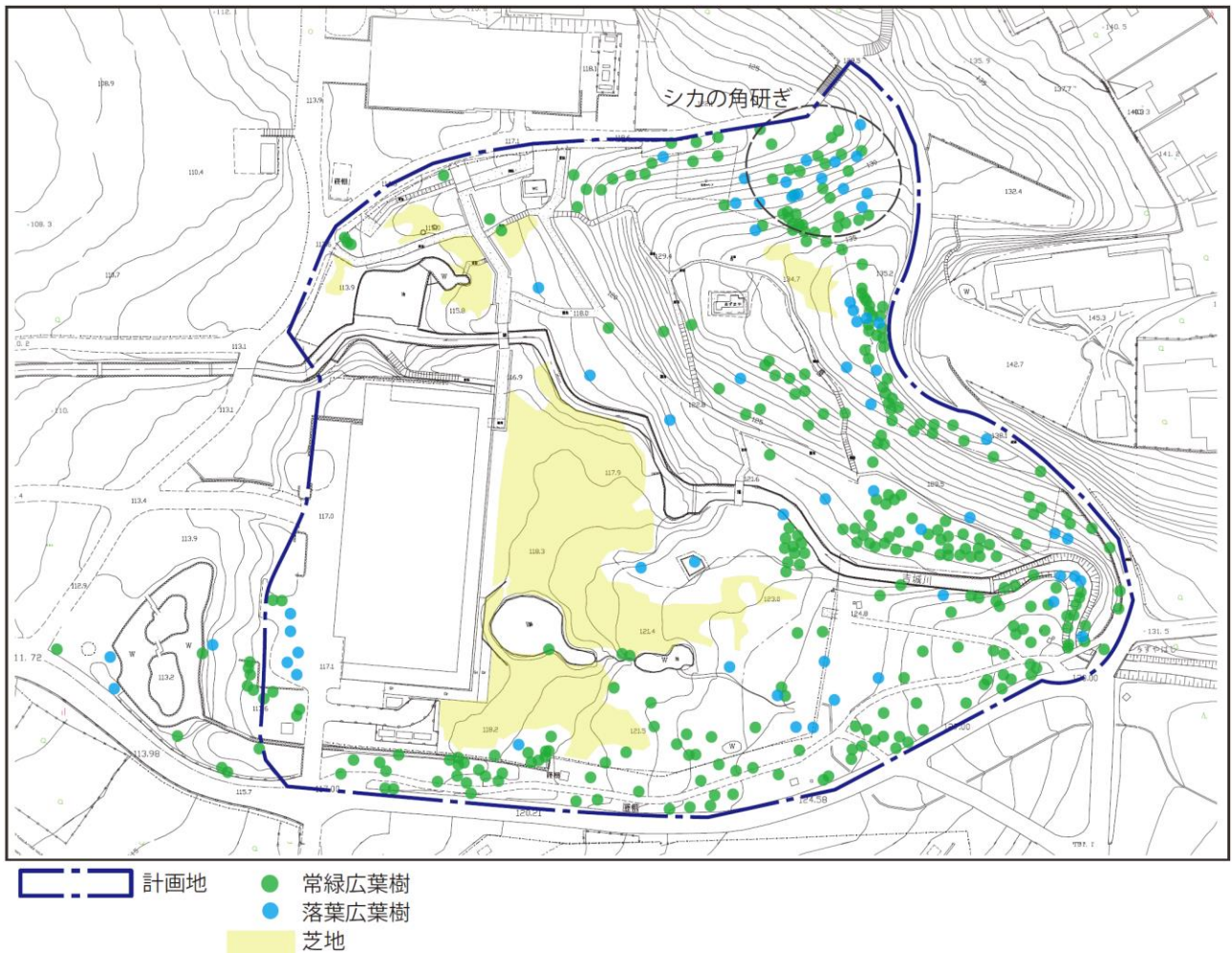
移植されたイロハモミジ（吉城川下流部）



イロハモミジ（ひょうたん池付近）

●その他

⑨常緑・落葉広葉樹



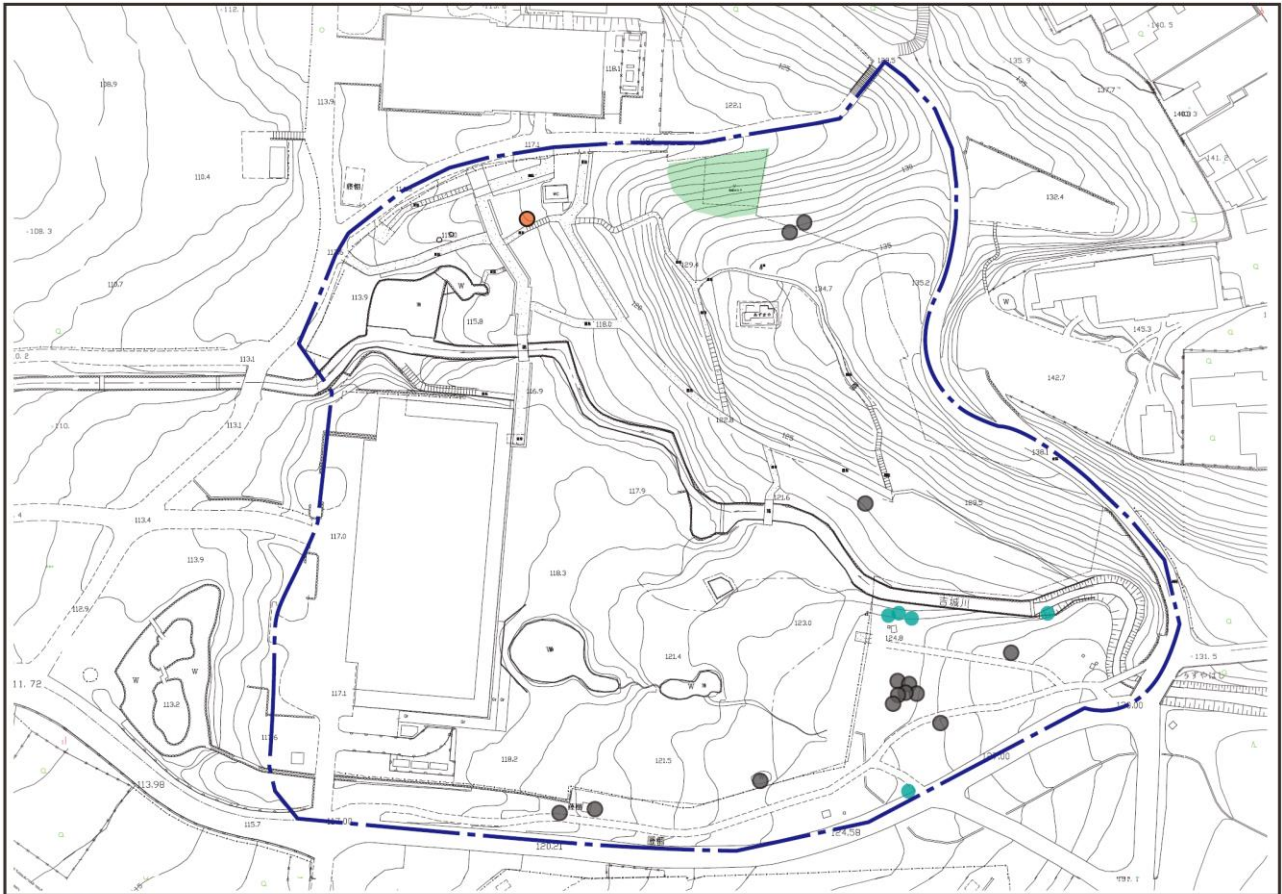
図：常緑・落葉広葉樹の分布

樹木調査（H27年度）

<p>分布と履歴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常緑広葉樹は、クスノキ、スダジイ、シラカシ、イチイガシ、ヤマモモ、シロダモ、カゴノキ等で、尾根部から春日大社境内地に近いところに多い。クスノキ、スダジイ、シラカシ、ヤマモモは植栽であると思われるが、イチイガシ、シロダモ、カゴノキは自然植生であると思われる。クスノキ、シラカシ、イチイガシは大径木があり、「藪」整備以前に植栽されたものと考えられる。 ・落葉広葉樹は、ケヤキ、ムクノキ、エノキ、マルバヤナギ、イヌシデ等で、計画地のあちこちに点在している。ケヤキ、ムクノキは植栽であると思われるが、それ以外は自然植生であると思われる。 ・その他に、個体数の少ない樹種として、リンボク、エゴノキ、カマツカ、ツリバナなどが見られる。
<p>生育・管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれも生育は良く、自然樹形である。但し、一部のヤマモモやマルバヤナギは、日照不足のため、生育不良を起こしているものがある。 ・計画地北東の外周部の大径木にシカの角研ぎの被害が発生している。 ・計画地内のカシ類にキクイムシ被害が発生している。 ・定期的な管理作業は実施していない。
<p>周辺の分布</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常緑・落葉広葉樹共に、周辺の自然林や水系付近に見られる。

<p>「公園全体の植栽方針」との整合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常緑・落葉広葉樹は、概ね右図に示された配植と整合している。 	<p>イチヨウを保護・育成するエリア</p> <p>ケヤキ・エノキ等を保護・育成するエリア</p> <p>イチイガシを保護・育成するエリア</p> <p>図：常緑・落葉広葉樹の配植（案） 出典：公園全体の植栽方針（H26年度）</p>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽木を含みながらも自然植生の構成樹種が多く見られ、自然性は高い。 ・大径木は、幹周り、樹高共に非常に大きなものがあり、樹形も見事なものが多い。 ・樹木生長のため、過密な状態になっているところが多い。 	
<p>クスノキ・シラカシ・ヤマモモ（太鼓橋南側）</p>	<p>イチイガシ（尾根山裾）</p>	<p>クスノキ群（尾根部）</p>
<p>シラカシ・角研ぎ被害</p>	<p>マルバヤナギ（吉城川沿い）</p>	<p>ケヤキ（吉城川沿い）</p>

⑩外来高木（ナンキンハゼ・メタセコイア）



 計画地 ● ナンキンハゼ ● ナギ（参考）
● メタセコイア ■ モウソウチク（参考）

図：ナンキンハゼとメタセコイアの分布 樹木調査（H27年度）

分布と履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ナンキンハゼは、計画地の南北樹林内に各1～2本分布している。立地から鳥散布による実生であると考えられる。 ・メタセコイアは、計画地北寄りの芝地内に1本分布している。履歴は不明。
生育・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・共に生育は良く、自然樹形である。 ・共に定期的な管理作業は実施していない。
周辺の分布	<ul style="list-style-type: none"> ・ナンキンハゼは、浮雲園地や春日野園地に多数あるほか、あちこちに点在する。 ・メタセコイアは周辺にはない。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ナンキンハゼは樹林地内にあり、速やかに伐採する必要がある。 ・メタセコイアは、奈良公園に適さない外来種であることから、伐採する必要がある。

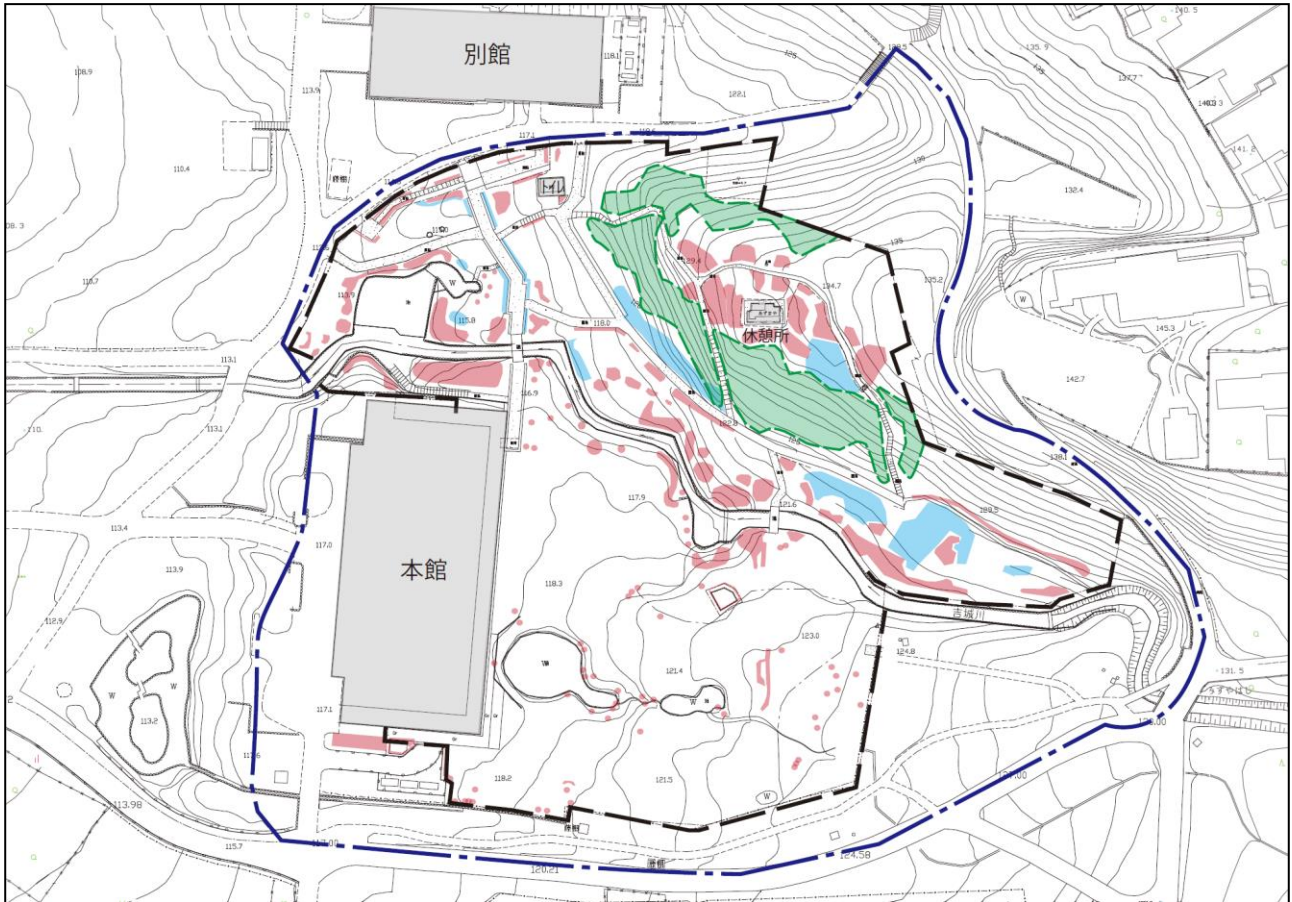


ナンキンハゼ
(南東樹林地内)



メタセコイア
(屋外トイレ付近)

⑪低木・地被類



 計画地
 低木(群生)
 境界柵
 低木(点在)
 図：低木・地被類の分布
 地被類

出典：樹木調査（H27年度）

分布と履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・低木・地被類は庭園内部に分布し、アセビを除き庭園外部には見られない。 ・植栽による低木は、アセビとムラサキシキブが点在し、カンツバキ、クチナシ、ツツジ類（ヒラドツツジ、キリシマツツジ、サツキツツジ、ドウダンツツジ）、アジサイ、ウメモドキ、トサミズキ、ヤマブキなどが群生している。自然植生と思われる低木としては、マンリョウ、センリョウ、ナンテン、ヒサカキなどが見られる。 ・植栽による地被類は、シャガ、ツワブキ、オカメザサ、タマリユウ、ヤブラン、カタクリ（育成中）などが見られる
生育・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね生育には問題ないが、吉城川上流部の樹林内のツツジ類は日照不足で生育不良を起こしている。また、ヤブツバキ列植下に配植されているシャガも日照不足の状態にある。 ・点在する低木には、定期的な管理作業は実施していない。群生する低木及びオカメザサについては、毎年刈り込み剪定を実施している。
周辺の分布	<ul style="list-style-type: none"> ・低木・地被類は、アセビやシダ類を除き周辺地には見られない。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・尾根部の自然な植栽景觀に不釣り合いな低木植栽（以下に列記）が見られることから、配植や剪定方法の見直しが必要である。 帯状又は方形に群植されたトサミズキやアジサイ、個体毎に刈り込まれたドウダンツツジ、ウメモドキの群植 ・樹形が大きく乱れたアセビの古木が多いことから、樹形・樹勢の改善を図る必要がある。

- ・樹林地付近はマンリョウ、センリョウ、ナンテン、ヒサカキなど実生苗が非常に多く、雑多な印象を与えているため、管理方法の見直しが必要である。
- ・尾根部のヒラドツツジは高木の生長により日照不足をおこし花付きが悪いことから、配植の見直し又は隣接木の剪定を検討する必要がある。



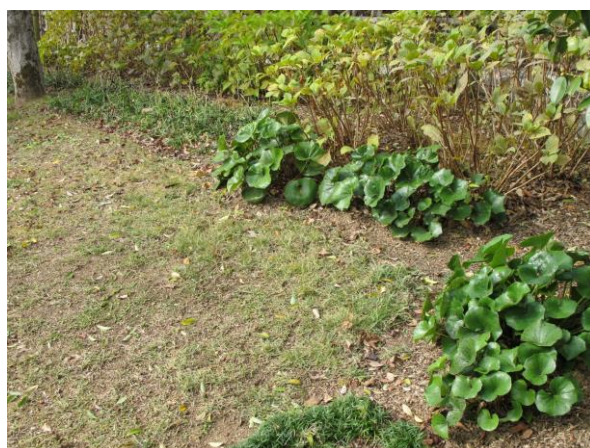
ムラサキシキブ (尾根部・点在)



アセビ (尾根部・点在)



アジサイ、ヒラドツツジ (尾根部・群植)



ツワブキ、ヤブラン、アジサイ (連絡通路付近)



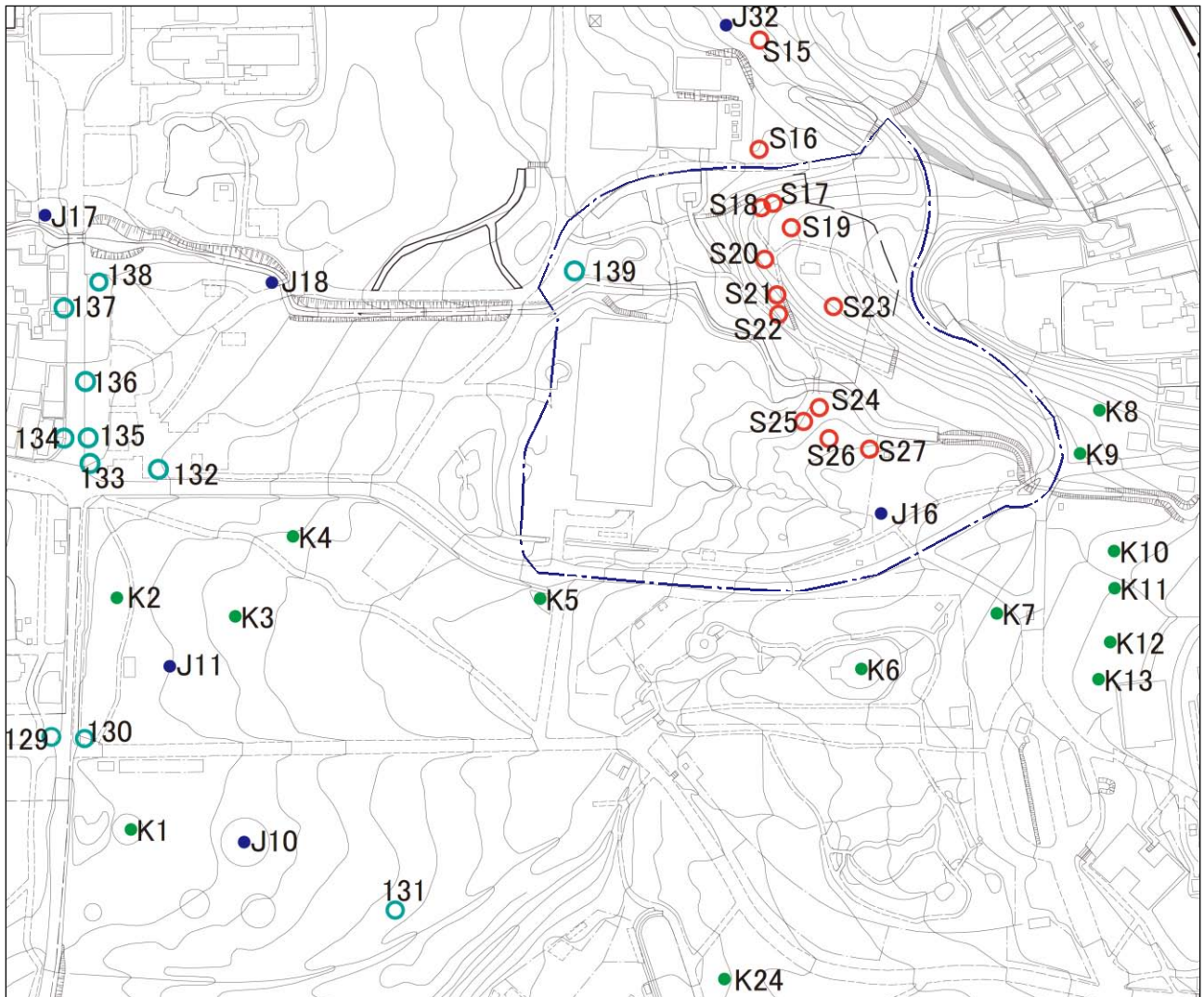
アセビ古木 (尾根斜面・点在)



ドウダンツツジ (尾根部・点在)

⑫重要樹木

平成 25 年度重要樹木調査の結果から、計画地及び周辺地に位置する重要樹木を抽出した。



○ 1～183 マツ類 大木 ● JA～JF いわれのある樹木 ● K1～K24 イチイガシ巨樹群(市指定天然記念物含む)
 ○ S1～S20 サクラ類 大木 ● J1～J32 巨樹・巨木 ※1 マツ類の番号は台帳ではM001～M151 ※2 一部重複表記

図：重要樹木位置図

NO	樹種名	形状寸法		選定区分			位置情報	
		樹高	幹周	巨樹リスト	巨樹群	大径木	ゾーン	土地所有
J016	フジ	14.6	1.23	○			平地林ゾーン	社寺地(春日大社)
K005	イチイガシ	25.7	3.68		○		平地林ゾーン	社寺地(春日大社)
S017	ヤマザクラ	13.7	1.91			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園
S018	ヤマザクラ	9.4	1.90			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園
S019	ナラノココノエザクラ	13.1	1.60			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園
S020	ヤマザクラ	12.0	2.47			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園
S021	ヤマザクラ	10.8	1.29			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園
S022	ヤマザクラ	11.8	2.78			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園
S023	エドヒガンザクラ	20.2	2.24			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園
S024	エドヒガンザクラ	18.4	2.14			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園
S025	エドヒガンザクラ	17.5	1.92			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園
S026	ヤエベニシダレ	5.8	0.94			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園
S027	エドヒガンザクラ	17.8	2.84			○	庭園植栽ゾーン(新公会堂)	奈良公園

表：重要樹木リスト